

市長タウンミーティング
～あなたの“ちょっと気になる”を市長に聞いてみよう～

日時：令和8年7月11日（土）10時00分～

場所：産業文化センター 研修室兼集会室

参加者：38人

意見交換のまとめ（概要）

参加者からの意見	市長等からの回答
【参加者】 ・市役所に電話すると始めに録音すると案内があるが、市民に対して失礼なのではないか。企業によっては、内容によっては録音させてもらいますとあるが、市役所は全て録音される。 ・開庁時間を短縮しているが、給与にはどう影響しているのか。 ・市役所から送られてくる文書に問合せ先が載っていないことがある。返信用の文書に連絡先が記載されていることがよくあるが、誰が文書をチェックしているのか。 ・市の催しで写真を沢山撮っているが、そんなに必要なのか。カメラマンになっている人が多いということは、それだけ人が余っているのではないか。撮った映像は何に使うのか。 ・今日の市長タウンミーティングでの職員参加者が多すぎるのではないか。	【市長】 ・電話を録音することについては、言った言わないということやトラブルが増えているというお声もありました。そういった中で、後で録音内容を聞き返し、失礼がなかったかの確認や自分たちや市民の皆様を守るためにも行っております。ご理解をいただければと思います。 ・市庁舎や出張所の開庁時間の短縮をしたことについて、職員は窓口が閉まる時間で帰るわけではありませんが、開庁時間の短縮により時間外勤務が削減されるという見込みで、職員の働き方改革として行っております。短くしたことで、市民の皆様に良質な確かなサービスの提供をするという意味もございます。今年度、実証実験を行っているところです。 ・文書、郵送物のあり方については、より良い、分かりやすい文書を考えて参りたいと思います。文書は各担当で作成しておりますが、いただきましたお声は全庁に浸透させて、分かりやすい文書に努めて参ります。 ・写真を撮ることは、市民の皆様に市の行っていることを発信していくということで行っております。写真に写りたくない方には配慮して行っております。 ・市長タウンミーティングは、2か月に1度、担当を変えて行っております。次に担当する部署が下見に来ておりますが、それよ

	りなにより、市民の皆様の生のお声を職員は知らなければならないということで、多くの人数が来させていただいております。 今回の勉強ということが一点、それから、市民の皆様がわざわざお越しになられ、お声を我々に投げかけてくださっているということで、市政の発展および市民の皆様との向き合い方に還元されているというふうに思っていますので、ご理解いただければと思います。
【参加者】 ・朝霞市の60周年の記念事業について、広報を見てもあまり書いていない。市ホームページを見ると新しい事業がほとんどなく、今まであった事業を冠事業だとか関連事業だとかいうことでさびしい。 私は、パラリンピックの正式種目のボッチャを7年ぐらい前から児童館などでやっている。朝霞市でもオリンピック、パラリンピックの時にやっていたが、その後、尻つぼみになってしまった。 2、3年前からインクルーシブの社会作りというふうに言われて、誰でも楽しめる、そういうものを広げていくってことは必要だと思うので、60周年の事業にボッチャを提案する。	【市長】 ・来年の3月15日で市制施行60周年を迎えることとなります。市といたしましては、今年度と来年度で60周年に関する様々な記念事業を行っていく予定です。 今ホームページに載っているものは、現時点である事業で60周年を盛り上げることができるような事業を載せています。 来年度、記念事業を様々な展開をしていく予定でありますので、楽しみにしていただければと思います。 今現在進行形で新しく取り組んでいるものは、宇宙アサガオプロジェクトというものがあります。宇宙飛行士の山崎直子さんと共に宇宙を旅したアサガオの種を公共施設や市民の方に育てていただき、たくさんの種を採取します。来年度、子供たちに種を渡すことができるように考えています。 朝霞市を花いっぱい綺麗な町にしていくように、そして子供たちにもそういったことも一緒に考えるきっかけになればということで始めているところです。 【教育長】 ・ボッチャについて、東京パラリンピックの後、学校でも多くの体験をしました。 また、市民スポーツ大会ですが、今年からあさかスポーツフェスティバルという形で大きく変更いたします。いろんなスポーツ

	を体験してもらおうということで、体育館のブースで体験のコーナーを作るとか、可能ですので、ぜひご参加よろしく願います
【参加者】 ・朝霞市に35年以上住んでいるが、市の特色、特徴、魅力について答えられない。4市のなかで、朝霞市が突出しているものは何か。あるいは、ここは負けないうようなものがあるのかっていうのを聞きたい。そういうことを意識して市はやってほしい。 ・少子高齢化なので、子育て、高齢者に対しての手厚い支援を考えて欲しい。 ・他市の広報誌をチェックしているのか。魅力的な書き方をしている他市の広報誌がある。	【市長】 ・4市で一つというふうに言われてきていますが、4市も魅力を高め合えるってのが非常に大切なことかなと思っています。朝霞市の他の3市に比べて、いいところというのは、公民館、児童館、公園なども本当に多いです。そこに住んでいるとそれが当たり前かなっていうふうに思うのですが、他市ではもう少し少なくて、他の市から子供を連れて子育て支援センターや児童館に遊びに来るとかもあります。施設が細やかにあると考えています。それゆえ、老朽化した公共施設をどうするかっていうことがつらくなってきているところではあるのですが、皆様の日常を彩り支えていくような、施設が多いというのが朝霞の特徴の大きな一つではないかと思っています。 ・他市の広報誌を見たことがあるのか、研究をしているのかについて、私自身も見ています。朝霞市が協定を結んでいる東根市、佐久市、瑞浪市など他市の広報誌を見て、他市の政策でいいものは朝霞でできないかなということは常に考え、担当に伝えています。 職員もたくさん来ていますので、いただいたお声をしっかりと聞いてよりよいものにしていきたいと思っています。 【教育長】 ・朝霞市では昨年度から学びの改革というのを進めているところです。 今、学校では1人1台iPadタブレットパソコンを配られて、子どもたちはそれを使った授業をしています。 ChatGPTや生成AIは、質問を投げ

	かければ答えがすぐ出てきます。今、私どもが考えているのは、この答えを出すことではなくて、問いを立てること、疑問に思うこと、好きなことをとことん学んでいこうという子供を朝霞市では育てていこうと思っています。全国的にも市を挙げてやるってなかなかないと思いますが、全小中学校において、探求的な学びというのをスタートさせています。
【参加者】 ・市の業務のデジタル化について、市民との間の手続き等についてはデジタル化は進めているという感覚があるが、市職員のデジタル化は遅れている感覚がある。私は市の会合に参加することがあるが、例えば、対面での会議で、録音をして後で会議録の文字起こしをするなどしているが、会議録の文字起こしなどはA Iを活用すべきである。職員のライフワークバランスを改善することを考えると、対面でもWeb環境でそういうことができ、セキュリティも今強化されているので、十分行政でもできるかなと思うので、進めていただければと思う。 ・わくわく号等の市のバスの運賃体系について、同じような料金体系にするべきではないか。 いくつか問題があるが、まず制度の維持という側面、それから、税金を投入してるので、通常の路線バスを使ってる方、市の路線バスを使ってる方の公平性を保たなければいけない。 それから、内間木地区のわくわく号、ワゴンの乗り残しが多発している。市で把握しているデータより、私はもっともっとあるという感覚だ。 市の方が安いから、民間の路線バスは乗らず、市の方に流れますっていうことはあってはならないと思うので、料金体系を早急	【教育長】 ・庁舎のデジタル化ということで、市役所は改善の余地があると認識をしています。A Iの進展は目を見張るものがあり、A Iを使えばいろいろなことが簡略化できるという認識は持っています。すでに、庁内でも生成A Iを使って、作業を効率的に行うといった取り組みはスタートしています。 また、議事録等についてもご指摘のようにA Iを使って簡単にできますので、今後、検討してまいりたいと考えています。 【市長】 ・わくわく号の運賃の体系について、公共交通の計画にも民間との均衡を図ることというふうに位置づけていますので、公共交通協議会でも運賃料金について検討をさせていただいているところです。 昨今、エネルギー、物価高騰でするので、そういったところも順次ケアの検討を進めてまいりたいと思います。 乗り残しに関してもこの頃多いのかなというところもあります。しっかり聞き取りながら検討してまいります。

に見直すべきではないかと思う。 料金が上がったことによって負担が大きくなるということであれば、高齢者や学生の方に何か補助をするという、そういう別立ての検討をお願いできないかなと思う。	
【参加者】 ・朝霞台駅がとにかく汚い。 東洋大が朝霞に2500名移ってきて、1日だいたい1500人が朝霞台駅から東洋大まで歩いている。綺麗にして学生の思い出に残るようにしてほしい。 ・4市というけど、勉強になるところはない。市役所の人たちも自分の足であるいてみるのが一番いい。	【市長】 ・朝霞台駅は市民の皆様のアンケートでも、他と比べて暗いというようなお声もいただいているところです。今年の11月を予定していますが、北朝霞駅の西口、人参のモニュメントが建っているところですが、広場化に向けての工事に着手します。2ヶ年かかる予定で、車中心のロータリーから人が集える、そういったまち作りを進めていくというところで人が集い、人が何かができるようなことをしていく、広場化に向けての工事に着手します。 少しでも綺麗な街になるようにということを進めてまいりたいと思っています。 また、足でやっぱり歩いて現場を見るということであります。私自身もやはり現場に向かうということをその目で自分が見て感じるこつていうのを大切にしていますので、市を挙げて気を遣っていきたいと思います。
【参加者】 ・前回も聞いたが、個人宅の樹木が私の家の前の道路半分くらいはみ出している。2軒あるが、1軒はもう空き家になっていて、時々、家族の方がみえて電気がついてるのは見えるが、樹木をどうこうすることもない。 もう1軒の方は、もはや諦めてるというか、今更木を切れないという、大きくなりすぎている。重機も入れないようなところなので、今後どうなるのかわからないが、どうしたらいいのか。 あまり私が言って、問題になってもと思っ	【市長】 ・樹木が道路にもかかっているという場合は、市道であれば、道路管理者である市が、こちらの方々に勧告をすることができるといふうになっています。 そうではない場合は、所有の方の財産権とかも関わってくる問題なので、慎重にならざるを得ないところはあります。 しかしながら、市から何かお話をすることがありますので、後ほど職員に詳細を教えていただければと思います。

ている。社協などのボランティアで、みんなで出来ればと思うが、どうか。	
【参加者】 ・私の疑問点は、オレンジサポーターの養成講座である。養成講座を受講した包括や行政からの支援や情報が少ない。オレンジサポーターと包括、そして行政との三者の一体化が不可欠だ。オレンジサポーターは、各包括センターで年2回、養成講座を受講し、受講した名簿は担当部署にその都度報告されているが、その大切な名簿が有効に活用されていない。オレンジサポーター制度は、認知症やその家族にとって大変助けになる制度だ。暮らしやすい地域作りのための提案として二つ。 一つは、オレンジサポーターの情報交換会の開催。 二つ目は、オレンジサポーターと包括支援センターと行政の3者が一体となった情報交換が必要である。	【市長】 ・オレンジサポーターの養成講座は精力的にやらせていただいていますし、包括も本当に積極的に活動してくださっていますので、そういったところが広がっているかと思います。今回に関しては、その方たちのもっと更なるその先をどう考えていくかということだというふうに思います。 一点目の地域ごとにそういった情報交換を行政主導ではいかがかということに関しましても、もう一点が、講座の後の意見交換、三位一体となってしっかりと取り組んでいってほしいというようなことです。 どんな形が一番市民の皆様にとって、そして、市にとっていいのかということも含めましてしっかりと検討していきたいと思います。 いただいたご意見、ご提案については、しっかりと検討させていただきたいと思います。
【参加者】 ・この度デマンド交通が実施されたということで、非常にいい制度だと思う。しかし、全国的に運転手の方は高齢化に伴い、人手不足の状況だと思う。あわせて、国際興業のバスも運転手不足で大幅減便になっている。 6月に国交省が軽自動車タクシーというのを解禁した。軽自動車になじみのある女性運転手などを掘り起こして、運転手不足の解消にということである。早速、北九州のタクシー業者が運用を始めている。狭い曲がりくねった細い道を、小回りの利く軽自動車はぴったりとのことだ。朝霞でも坂の多い地区で曲がりくねった細い道がある。デマンド交通に加えて、公共のライドシェア	【市長】 ・ご提案いただきありがとうございます。軽自動車タクシー、ライドシェアということのご提案でした。 先ほどありましたが、バスが大幅に減便になりまして、本当に市民の皆様にもご不便をおかけしているところです。市は、他の事業者の方に担っていただけないかということの今打診をしているところで、お返事待ちの状況です。 なかなか他の事業者においても厳しいところはあるかと思いますが、しっかりと公共交通を支えていくということで様々検討していきたいと思いますので、ご協力のほど皆様ご理解をいただければと思います。 デマンド交通が7月1日からスタートし、

として軽自動車を導入してみてもどうか。ライドシェアは、いわゆる公認の白タク業務だ。 私の友人も都内でライドシェアをしていて、タクシーを呼ぶのもアプリで行うので、いわゆる酔っ払いや乱暴な人はいないということだ。客の質は大変高くて安心してやっているということだ。 軽自動車のNボックスやスペースなどは、シートのお尻の位置が高く、腹筋足腰の弱い高齢者にとっては乗り込むときに非常にスムーズである。また電動スライドドアなので、タクシーと同じである。 しかし、ガソリン代は、自己負担ということなので、ライドシェア運転手に重くのしかかってくる。よって、朝霞市で公共版だったり、あるいは単なるライドシェアだったり、軽自動車を導入した場合、一つは報酬について、そのライドシェアの報酬について、住民税特別控除額とか、枠にするとか。あるいは、運賃以外の収益源として地元企業の広告ラッピングシールをボディーに貼るということで、広告代理としてのその企業のクーポン、あるいは割引特典をライドシェア運転手に分け与えるというような優遇措置、これは市のサポートが必要になってくるのではないかと思う。ライドシェアをやりたい女性ドライバーや定年退職ドライバーとなれば意外というと思うがどうか。	現在、１８２２名の方にご登録をいただいています。今まで２００名の方にご利用をいただいているところです。 ありがとうございます。より良きものとなるようにこちらも実証実験ですので、皆様の乗っていただいた方のまたお声もいただければと思いますのでよろしくお願いします。 先ほどもご提案いただきました件については、他の事業所や他の公共交通といったところの兼ね合いもあります。そのような中でいただいたお声をしっかりとまず受けとめさせていただいて、検討もしていけたらと思っていますので、貴重なご提案をありがとうございます。
【参加者】 ・３点質問したいと思う。 １点目は、市役所の人員の確保ということで、今かなり市役所の業務は、大変多面的で、開庁の時間を少し短めにしていることもあって、できるだけ残業をさせない形で運用していると思う。昨今、少子化になっているので、より若い方の人材を確保する必要性が高いかと思う。	【市長】 ・貴重なご意見のご提案をありがとうございます。 まず、人員の確保、市役所の職員の件もご心配をいただきありがとうございます。高校生にもう少しもっと若い人材にスポット当てたらどうかというようなお話だったと思います。私もそれは同感でして、ちょうど朝霞市役所は２回、職員の採用募集がありま

特に、近年、高卒の初級の公務員の方が入職するのが大変少ない感じが朝霞市は続いている。もう少し、若い方の人材をもっと確保してほしい。 今、勤めている職員の負担を減らすためには、やはり、事業の自動化、いわゆるRPAであって、先ほどAIの話があったが、やはりロボット化というところも進めてもらえたらどうかという提案である。 もう一点は、市所有の施設がかなり老朽化が進んでいるところが沢山ある、例えば、博物館など。私は田島に住んでいるが、内間木公民館、内間木支所の利用者が大変少ない状況である。また公民館の書物が大変古いので、誰も借りないということになっている。どうしても中央図書館や産業文化センターの図書館の方がより新しいものが多いので、利用されやすい。もう少し利用者がまんべんなく利用されるような工夫をしてほしい。内間木支所も悪いところではないがなかなか利用されないのが実情だと思うので、パスポートの申請であったりとか、内間木支所の活用できるような工夫が望まれると思う。 3点目は、市長タウンミーティングを午後の時間帯に開催してほしい。午前中だとなかなか仕事の都合で参加することができない。しょっちゅうではないが、午後の開催もしてほしい。	す。2回目、後期が今度ではありますが、こちらは高校生の方に来ていただけるような枠をしっかりと設けています。高校を卒業した高卒の皆さんに、朝霞市役所でしっかりと働いていただきたいと思います。高校生だけではなく、いろんな人材に働いていただきたいと思いますので、しっかり進めていきたいと思います。 2点目、またあのロボットはどうかというようなお話でした。 今年度、市役所では生成AIの本格導入を始めたところで、段階的に業務の効率化、働きやすさということもしっかりと取り組んでいきます。その上でロボットということも段階的には考えていくところがあるのかなと思いますが、まずはいるみんなでやっていきたいと思います。 しっかりいただいたご提案を受け止めたいと思います。 3点目、この市長タウンミーティングを午後の時間にということです。ちょうど今回で5ブロックに分けた5回目、最終回を迎えています。次にまた2ヶ月後にありますが、午前中で来られない方も確かにいらっしゃるかもしれません。午後の開催なども考えて取り入れていきたいと思いますので、ぜひその時はまたお出かいいただけたら嬉しく思います。 【教育長】 ・貴重なご意見ありがとうございます。市の施設、公共施設の老朽化ということに関して大きな課題と思っています。 市では新たにファシリティマネジメントの担当を作って、施設の長寿命化ですとか、あるいは改築改修といったことについて、検討を進めているところです。冒頭、市政説明でありましたが、現在、中央公民館の長寿命化工事をしているところです。
---	---

	昨今の資材費等の高騰により、なかなか施設を改修していくことがハードルが高かったような状況です。その中でご指摘いただいた博物館ですが、外壁の改修等を終えて今屋上の改修に着手しているのですが、課題があって、屋上の電気設備で、止まっています。しかし、できるだけ速やかに工事を進めたいと思っています。 また公民館ですが、今は中央をやっていますが、それ以外の地区館についても、計画的な改修を進めていきたいと考えています。内間木支所は古い部分もありますので、全体の建物を計画する中で、検討したいと思っています。 いろいろご不便をかけていると思います。また、公民館の図書館の資料についても、また再度検討していきますし、また市では中央図書館からご希望の図書を各公民館に届けるということをやっていますので、そういったことをご利用いただきながらと思っています。貴重なご意見ありがとうございました。
【参加者】 ・朝霞市は、「朝霞市」と言えないくらい、何もない、知られていないところだと思う。ただ、自衛隊があるってだけで。空港からタクシーに乗った時に「どこから来た」と聞かれ、「朝霞」と言ったら、「どこですか」言われて、「自衛隊があるところです」って言うのと「それならわかる」と言われた。それと九州旅行行ったときに、お店のおばちゃんと喋ったときに、「どっから来たんだ」って言うから、「埼玉の方です」って言ったら、「熊谷だ。あついで熊谷だ」と九州の人が知っていた。私は、「朝霞って知ってますか」って言ったら、「朝霞ってなんだい」って言われてがっかりしちゃって帰ってきたことがある。熊谷はもう全国的にあついで	【市長】 ・貴重なご意見をいただきました。朝霞って何なんだろうって、たぶん全国的に名前が通っていないってということで、いつも朝霞が何が突出してるんだろうってことを考えてくださっているということで本当にありがたいなと思います。市民の皆さんに愛着を持っていただく、朝霞に住んでいることを誇りに持っていただけるようにということをまずやっぱり考えていきたいと思っています。私自身が思っていることですが、もちろん全国的に何かしらいいことで名前が通るといのは大変大切なことだと思いますが、住んでいらっしゃる方が朝霞に住み続けたいと愛着を持ってもらえるということをする

ぞ熊谷の名が通っているので、すぐわかるが、朝霞市はそういうのがないのかなと思う。 相撲の大栄翔が呼ばれたときに、あの朝霞市出身ってちゃんと言ってくれる。それを聞いて私も安心している。 だから、せっかく朝霞から大栄翔が出てるのだから、どこかの公園の中に相撲ができる場所、気楽に相撲のできる土俵を作ってみたらどうか。やるやらないは別として、やる場合は誰か指導者みたいな人がいる、やらないにしても、土俵はどんなものなのかを見てみたいっていう人がいると思う。 そんなことで、朝霞は何を主張したらいいのかって年中考えている。 それから、小学校に前は英語の先生が来ていた。英語に触れるために、勉強するためではなく。今はいるのかいないのかわからない。 だったら、お金のかからない学校の休み時間、お昼休み、英語の歌を流すとか、英語でハローとか、グッドモーニングとかって、単語でもいいから、先生方が声をかける。それで英語になじんでもらって、中学行って英語を勉強するという形はどうなのかなって、今考えてるところだ。	すめてまいりたいと思っています。そのような中で、朝霞が取り上げられて、全国的になればいいなと思っています。 そして、また大栄翔もぼぼたんのまわしをつけてくださったりですとか、本当に毎回毎回朝霞市というふうに呼んでくださることで、知らず知らずのうちに皆さんに朝霞の名前を、広げてくださっていることを本当に嬉しく思っているところであります。 土俵に関しては、武道館の裏に土俵があります。子供たちもそこで相撲を取ったりして、第二の大栄翔を目指している子供たちもいます。武道館の裏にあるということを皆さんにも知っていただきたいと思います。 【教育長】 ・実は私は今この仕事をしていますが、元は中学校の教員で、教科は英語です。 20年前に指導主事をしていまして、朝霞の英語教育をどういうふうにして良くしていこうかといったことに取り組んでいました。 朝霞市は、優秀な外国の教員を入れていきます。小学校10校に対して7名、中学校は各校において1名入れています。 この教員は市が直接雇用をしている朝霞市職員として、非常に優秀なALT、外国人の指導助手を入れています。 参考までに、朝霞市の全国学力テストの英語の成績は、さいたま市と同様に非常に高くなっています。英語教育に関しては本当に一生懸命取り組んでいます。
【参加者】 ・私は今年の全国障害者スポーツ大会、フライングディスク競技埼玉県代表選手で、朝霞市民で股関節に身体障害がある。朝霞第二中学校フライングディスク部でボランティアで外部コーチもしている。今日は私	【教育長】 ・中学校は様々な部活動がありますが、フライングディスクという競技は、いわゆる特別支援学級のお子さんたちを対象にした部活動として取り組んでいます。 全ての学校の子たちがフライングディスク

の部活動への思い、学校部活動の未来について意見交換したい。 コーチになったきっかけは、朝霞第二中学校特別支援学級で支援員をしていたとき、フライングディスク部のお手伝いをしたことである。 部活動では、特別支援学級の生徒たちと一緒にスポーツをすることがとても楽しく、支援員を離れた今も10年ほどボランティアでコーチを続けている。 2年前には朝霞パラスポーツクラブを立ち上げ、卒業生と一緒に練習ができるようになった。 10年間でいろいろなことがあった。 最も嬉しかったことは、中学校でフライングディスクを始めた選手が今年23歳になり、今では私と一緒に後輩を指導する立場になったことである。 その選手の成長は私達の誇りであり、特別支援学級の生徒たちにとって希望である。 私はこれからも外部コーチとして、中学生が挑戦できる環境を守っていき、そして未来の指導者を育てていきたいと思う。	という競技に取り組んでいます。 フリスビーのようなものに近いのですが、本当に盛んで今年も全国に行った子がいます。真面目に取り組んでいて、埼玉代表として出ています。 いろんな意味で、今、部活動全体の地域展開ということについては取り組んでいて、朝霞として今後部活動をどうしていくかといった検討しています。フライングディスクも含めてですけども、子どもたちが自分のやりたいスポーツや文化活動ができるようにこれからも支援していきます。
【参加者】 ・2点あって、1点目が交通安全を学べる場所をぜひ作っていただきたいと思う。 特に自転車について。朝霞周辺で探してもないので、大泉の方に自転車を取りながら交通を学べる場所があるのでちょっと行って見て、道路の交通は左側走行だよとか、信号は守るんだよっていうふうな形で学んでいる。 この辺にないので、是非作って学べる場があればいいと思う。 もう1点が、朝霞に住んで8年目になるが、子育てをされていて思うのは、黒目川が、とてもとても良い資産というか、魅力的なところだなと思う。	【教育長】 ・昨今、自転車にまつわる事故が課題とされています。この4月に道交法が変わりまして、自転車の運転についていろいろルールが変わってきてるところです。 本市の学校では、交通安全教育に大変力を入れていまして、まずは、小学校一年生を対象に新入学生児童の交通安全教室をやっています。 横断歩道の渡り方や、実際に信号を持ってきて、校庭でやっています。また、自転車について小学校4年生全員に子供自転車免許という制度や朝霞警察に来ていただいて、小学2年生全員が校庭で自転車のルールについて学んでいます。

溝沼の児童館の近くのところとかで中に入って遊んだりとかできたりするし、その橋のところだとバーベキューしたりとかっていうふうにできてるのでぜひぜひもっと魅力を高めていきたいと思う。 朝霞台、北朝霞の特徴は、武蔵野線と東上線が交わるところで人はかなり行きかうが、どうしても乗り換えだけになってしまう。人を誘導できればと思う。例えば、黒目川のところで川床、川の上で涼みながら食事ができたりとかっていうような場を作って、人をうまく誘導したりとか、例えば飲食店から、ドローンを使って食べ物運んだりとか、何か実証実験とかも兼ねながら先進的なこととかしながらさらに魅力を高めるとか、そういうのができれば面白いと思う。	交通安全教育は、やはり、我々大人が見本にならないといけない。 私も車を運転しますが、本当になかなか大人の方がマナーを守っていないなど、特に小さいお子さんを自転車の後ろに乗せた方が、結構平気でルール守ってないなっていうところもあります。 市全体で大人も含めて、交通安全について啓発していきたいと思います。 【市長】 ・黒目川の魅力をさらに高めることについての様々なご提案をいただきありがとうございます。 私も黒目川はこの朝霞の財産だというふうに思っておりますけれども、さらに魅力を発信することで、皆さんにより朝霞の生活を楽しんでいただきたいと思います。 いただきましたご提案ですが、黒目川の管理をしているのが、縦割りで恐縮ですが、実は県になります。 県と市で様々な意見交換をする場というのは何回もまめにやらせていただいておりますので、話をしてみてもいいのかなと思います。 これからもまたご意見等ございましたらぜひご提案いただければと思います。
【参加者】 ・2点です。 町内会、自治会には入会要件と退会要件がある。会費をもらいに行くと、「やめます」って言われる、昨年わかったが、三原4丁目は24所帯あったのが現在は4所帯だ。 私が言いたいのは、ごみ出しが日本でもいろいろ問題になっている。ごみ出しの袋とかごみ出しの仕方、焼却だとか。 もう1点は、通学路。泉水2丁目と3丁目の境のところ。泉水坂、ここで一小と十小が通学している。	【市長】 ・まず、町内会自治会とごみの関係であったと思います。 ごみに関しては、町内会に入っている入っていないに関わらず、お出しいただくことが可能です。あと町内会と自治会に関してはもう法的な根拠というのは大きく違いはない地縁組織であるというふうなふうに捉えているところです。 ごみの出し方とか様々ごみのルールなどは課題になっているところでもあります、そこはしっかりと周知徹底させていただく

今、ある議員がやってくれた。保育園の園児注意という看板が設置され、多少スピードを落としたと。これを向こうの金子坂、南公民館の方まで行くときには、一小と十小が、同じ時間帯に通学していて、かに歩きをしている。かに歩きって登山している人は分かるけど、横になっていかないと集団登校が難しいと。この辺を、今、農地になっているから、2丁目の方は農地転用をして、議員さんたちも結構頑張ってるけど、なかなか実行するのに予算の関係もあるから、だからその辺の方向性をちょっと聞きたい。	ことで皆さんにごみの正しい出し方、そういったところも啓発を怠らずにやっていきたいと思います。 【教育長】 ・通学路についてご指摘いただきました。朝霞は坂も多くて、また道が狭いところもたくさんあります。そういった中で小学生の朝は、登校班で登校している状況です。市内の交差点等には、交通指導員さんを配置しています。30数箇所、配置していますが、泉水坂、金子坂といったところについては交差点ではありませんので、なかなか交通指導員の配置が難しいです。状況等を見させていただいて、確かに狭いし、カーブして見通しが悪いとかありますし、通勤の時間帯でたくさんの車が通りますので、実態を見させていただきながら、検討したいと思います。 また、先ほど言った交通安全教育ということも含めて、注意していきたいと思います。
【参加者】 ・実は傷害事件になって、個人的ではなく、施設ですか、ここで言うと膝折とか溝沼とか浜崎ですか。施設があって、カラオケとか大広間、広間、お風呂、図書館とか将棋やったりいろんなとこができる場所がある。そのところで溝沼もそうだが、古いついていうか最初から来てる人が何か仕切ってるような感じがあって、施設の人も言うことをちゃんと言わないで控えていて、その人を長く権威を持つようにしてしまった。 そして、実は私は浜崎でカラオケをやっているところで、皆さんみんなうるせえなとかいろんなこと言って下手だとか、ずれてるとかいろんなこと頭越しに言う人がいた。権利を持っちゃったような人が、施設の人	【市長】 ・お待たせして申し訳ありませんでした。まず、話が前後しますが、発言者を決めるのに挙手でやればいいという話がありました。このタウンミーティングに関して、最初は挙手でやっていましたが、当てられた、当てられないという話もありましたので、今回はくじでやらせていただいています。遅くなって申し訳ございません。 また、より良い形を今後も模索しながらやっていきますので、ご理解を今回いただきたいと思います。 そして、また、ご自愛いただきたいということを申し上げさせていただきます。 今回のことに関しまして、こちらの方で詳細を後でまた伺えればと思います。 まずは本当にご自愛いただき、そのような

がそういう何も言わないので、私がみんなに言うからうるせえなって言った。そしたら、表でろっ言って、2階ですけど2階の廊下のへ出た。 そして出たら、掴まれて、投げられたか、流れて踏まれたか、肋骨が4本折れた。 今もそういう状態で警察が入っている。警察が入ってるときに、実はそのところにモニターのカメラがついてた。 あくる日に警察に来てもらったのだが、警察の人がそこにカメラがあるから大丈夫だからということであった。警察行って、聞いてみたらあれはダミーだと。 何だと私は役所でそんなのあるのかって形である。 それで役所に行ったら、その後何の話もなく、今日、市長さんと来ているけど、どういう連絡網で言ってるのかなと。ほうれんそうではないけど、報告と連絡と相談私には何も返ってこない。 一言も悪かったと個人的に喧嘩をしたらどうとそういう言い方である。 そのカメラを私は今、現在骨折してこういう状態だが、他の人にそういう二次災害にならないためには、そのダミーを本物につけてもらいたいと、それには予算があるだろうからいきなり作ることができないから、予算を取ってやればいいと思うけど、私が起こしたことをその役所の方にちゃんと報告をしてるんですかってこと。 そしたら、してるっていうのはどこでそれが止まっているのかな私に一言もない。 どうしたんですか大丈夫ですか、個人的な見解みたいなことを言うわけです。私はこういうところで外であれば個人的な喧嘩で個人のことだけど、役所の中でやって、それもましてダミーだったっていうの、私もそんなの許されるのかと。	中でもこういったところで声を大にしているところを大変ありがたく思っているところです。しかるべきことを考えていきたいと思いますので、ありがとうございます。
---	---

同じ災害に遭わないためには、いきなり買えってことは無理だし、その向こうのセンター長も予算がないからって言ってましたけど、予算がないから予算をつけるようにしたらどうしたらいいのか。 予算を取ったらつけましようとか、そういう報告があつていいと思うんです。私が役所にも何回も行った。お金も事故だと10割だ。 いきなり行ったら、2万円で。次も1万円かな。今もずっとやっている。 相手は遊んでいる、相手は相変わらず関係なく、その施設に入ってカラオケとかビリヤードとかやっている。そんなことが許される朝霞なのかなと思って、今日はちょっと声を大にして言った。 それで今もちょっと話し終わっちゃうけど、この2分でやるって言って、全然早く来た意味がない。そしたら、そんな抽選ではなく、10番までは順番にやって、あとは皆さんは抽選じゃないけど、1番と2番の方が一番後ろなんていう、そんな抽選なら、別に慌ててくることはなかった。私は今日意見が言いたくて早く来て、最初に言えるもんだと思ったら、時間切れでは諦めようかなと思ったら、すいません、余計なことかもしれないけど。	
【参加者】 ・浜崎4丁目は公園が少ない。全くないという現状だ。 西濃運輸のところに農家の土地だが作物を作らずに放置している土地があつて、そこに日比谷公園みたいな野外音楽堂を作つて、彩夏祭とか、一般のミュージシャンを呼んで、ライブなどをすれば、朝霞の誇りになると思うが、どうですか。	【市長】 ・ご提案いただきありがとうございます。浜崎の空いてる土地に野外音楽堂みたいなものを作ったらいいのではないかというお話だった思います。 今あいている土地がどなたの所有かということもありますし、それを使ってどうとか、いろいろクリアする課題というのはたくさんあるのかなと思います。 今、内間木公園をどうするかということがありますので、そのようなところの中で使

音楽堂ということになりますと、音がかなり大きいなどがありますので、周辺のご迷惑にならないところということであったり、音楽堂を作るまでの課題はあるのかなとも思います。そういったところはクリアできるときに、そういったことも検討していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

